

各位

上場会社名 東洋鋼板株式会社
 代表者 代表取締役社長 田中 厚夫
 (コード番号 5453)
 問合せ先責任者 執行役員 管理本部総務部長 大谷 憲史
 (TEL 03-5211-6200)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年10月29日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。
 記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	103,200	2,200	2,000	1,300	12.90
今回発表予想(B)	105,900	3,200	3,100	1,900	18.86
増減額(B-A)	2,700	1,000	1,100	600	
増減率(%)	2.6	45.5	55.0	46.2	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	119,259	3,944	3,953	1,846	18.32

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	93,000	1,600	1,800	1,200	11.91
今回発表予想(B)	95,800	2,300	2,600	1,700	16.87
増減額(B-A)	2,800	700	800	500	
増減率(%)	3.0	43.8	44.4	41.7	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	106,492	2,483	3,309	1,874	18.60

修正の理由

通期連結業績予想のうち売上高は、景気回復基調を背景に需要が増加し、鋼板関連事業においては電気電子部品用材料を中心とした薄板類などの販売が増加したこと、機能材料関連事業においては磁気ディスク用基板の販売が前回予想に比べ増加したことにより、前回予想を上回る見通しです。
 利益は、販売数量増に加え、全社的な総コスト削減を強力に推進したことにより収益基盤を改善したこと、磁気ディスク用基板の原価低減により、前回予想を上回る見通しです。

通期個別業績予想のうち売上高は、鋼板関連事業のうち電気電子部品用材料を中心とした薄板類などの販売が増加したことから、前回予想を上回る見通しです。
 利益は、全社的なコスト削減により収益基盤が改善されたことから、前回予想を上回る見通しです。

以上の理由から、平成22年3月期の通期連結業績予想および通期個別業績予想を修正いたします。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後さまざまな要因により予想数値と異なる場合があります。

以上